

諫高同窓会々報

長崎県立諫早高等学校
同窓会事務局
TEL 22-1222・FAX 22-5104
http://www.news.ed.jp/isahaya-h/
編集 集 二
塚 原 伸
印刷所
諫早印刷株式会社
TEL 22-1350

同窓会長就任のご挨拶



同窓会々長 小林 靖明
(高校二十六回・昭和四十九年卒)

同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より同窓会活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。令和五年七月一日に開催されました同窓会総会において、池田光利会長がご勇退されることに伴い、

会長職の大役を引き継ぐことになりました。これまで歴代会長が築きあげてこられた伝統と歴史を大切に、同窓生にとっても、また母校にとりましても同窓会が必要不可欠な存在となりますよう、同窓会の発展に貢献できましたならばと思っておりますので、何卒よろしくお願いたしました。

「人の役に立つ学び」を大切に



校長 堤 敏博

同窓会員の皆様には、平素より本校の教育活動にご支援とご協力を賜り、同窓会で整備いただいた御書院の池や、体育館等に設置いただいたWi-Fi環境など、他校にはない素晴らしい教育環境で活動できることに對して、生徒ならびに教職員一同、大変感謝しております。

は、本校の校訓である「自立創造」に込められた想い高い志をもって自分の人生を自分自身で切り拓くことを胸に抱き、学習や部活動、生徒会活動などに一生懸命取り組んでいます。この三年あるまじき、コロナ禍の影響で部活動の大会や学校行事なども中止、延期、規模の縮小を余儀なくされてきましたが、今年度に入り通常に戻りつつあります。ただ、通常といいつつもコロナ禍前とのまま戻すのではなく、この期間に学んだことを生かし、改善を加えながら教育活動を実践しております。

同窓会長退任のご挨拶



同窓会前会長 池田 光利
(高校二十回・昭和四十三年卒)

多大な心温まるご支援、ご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。三年余りにわたり、新型コロナウイルス感染症の影響を受け同窓会活動も自粛せざるを得ませんでした。とりまして、少くも令和五年の同窓会総会が諫早で開催されたのを皮切りに、関東（東京・神奈川）、中京（愛知・岐阜）、関西（大阪・京都・兵庫）、北陸（福井・石川・富山・金沢）の各支部で、長崎と各支部での総会、懇親会が開催されました。諫高同窓生としての世代を超えた固い絆がより強く深まったものと確信しております。ご参加いただきました各支部の皆様ありがとうございました。ご協力ありがとうございました。この数年にわたった同窓会活動が在籍生、そして卒業生にとりまして、母校を想いグロリアルに活躍する人づくりの一助となれまます。後継者として、心よりお祈りいたします。最後になりましたが、皆様を心よりお祈りいたします。そして同窓会活動への変わりぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

現在普通存在しているが、三十年前には存在しなかったものばかりです。このように世の中も変化し続けて、常識も変化しています。さらには、この数年にわたった新型コロナウイルス感染症の流行は、私たちの意識や行動に更なる大きな影響と変化をもたらしました。社会の急激な変化に拍車をかける要因にもなっています。以前、ある講演会で次のような話を聞いたことがありました。「戦前の時代」と名付けた戦後には「経済の時代」であり、バブルの崩壊を経て、現在は「文化の時代」へと移行が変わっています。「経済の時代」は、学歴重視社会であり、経済合理性優先の時代であった。言わば「正解が用意された時代」であった。それに対して、現在の「文化の時代」は、「正解がない、答えは自分の中にある時代」である。そして、多くの人が「お金の価値」だけで気付けており、必要なのは、学問や学歴ではなく、「人の役に立つ学び」であると感じていました。「急激に社会が変化し、人間の考え方も大きく変化した時代」として、今後長い間語り継がれていくことと思います。このあたり経験はしたくない。重なる経験をした私たちが、これまでの考え方に「持続可能な社会」を構築させるために、今、自分自身は何をすべきなのか」を自分自身で考え、行動に移していく責務があると考えています。このことを踏まえて、今後「人の役に立つ学び」を大切にしたいと思っております。

同窓会の皆様には、お元気で益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。私は、昨年七月一日の同窓会総会において、同窓会長を退任させていただきます。平成二十五年七月の総会において、十一年間会長を務められた森長会長より、会長のタスキを引継ぎ十年が経過していただきました。思いがけない会長就任要請の際に、森長先生「御書院の池の水質改善」と福岡支部再生の課題をいただき、その実現のために活動したことが、懐かしき思い出となります。会長在任中には、校長先生をはじめ教職員の皆様を心よりお祈りいたします。

後輩の皆様、地域の皆様、温かいご支援をいただき、誠に有難うございました。同窓会の関東支部、関西支部、中京支部、福岡支部、長崎支部の総会・懇親会では、校長先生と共に学校の現況報告・学校支援へのお礼や、交流を図り有意義な時間を過ごさせていただきました。令和二年、三年、四年、五年の三年間は、コロナ禍の影響で、同窓会活動も総会・懇親会等を中止せざるを得ない残念な期間でした。諫高に附属中学校が併設されて十二年。今後母

同窓会総会・懇親会の報告

令和五年七月一日(出)、ホテルグランドパレス諫早において、令和五年同窓会総会ならびに懇親会が四年ぶりに開催されました。総会では、まず池田光利会長のあいさつと堤敏博校長による学校の現況報告が行われました。議事では、前年度の事業と決算報告、本年度の事業計画と予算の審議が行われ、議案はすべて承認されました。また、池田光利会長の退任と小林靖明新会長の就任が承認され、同窓会の新体制が発足しました。引き続き、現役生による活動発表が行われ、今年度はギター・マンドリン部の演奏とコーラス部の合唱、応援団の応援が披露されました。諫高生らしい生き生きとしたステージ発表の姿に往時の思い出も多かったのではないのでしょうか。さすがらしい雰囲気。このなかで、総会を終了することになりました。

市民に昔から親しまれてきた「諫高」の「節」が流れると有志の方々の輪が自然とでき、血踊りや霧田の中、盛り上がりも最高潮となり、生代表より二十九回生代表に校旗の引継ぎが行われました。校旗を引き継いだ二十九回生代表が来年の盛會を誓い、同窓会総会ならびに懇親会を締めくくりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。次回のご参加も心よりお待ちしております。

校にも大いなる発展が期待されています。次期会長としてタスキを引継いでくれた小林靖明会長は、諫高同窓会の目的である「会員相互の親睦を図りあわせて母校の発展に資すること」に向かっていると思っております。

会員の皆様の諫高同窓会・小林会長への温かいご支援を何卒よろしくお願いいたします。長い間に改めまして感謝いたします。皆様のご健康と今後の更なるご健康とご活躍をお祈りし、会長退任のご挨拶といたします。

進路面では、令和五年三月の卒業生は、東京大学、京都大学などの難関大学合格をはじめ、すばらしい進路実績を残してくれました。特に九州大学二十八名合格(現役のみ)、県内公立高校一位、国立大学医学部医学科十一名合格(現浪合計)は、見事でした。また、部活動においても、令和五年四月以降で、高校全日制においては、フエニング部、レスリング部、放送部がNHK杯全日本高等学校放送コンテストナウンス部門第一位、全国高等学校文化祭アナウンス部門第一位の二冠獲得、他にも、テニス部男女、水泳同好会などが九州大会出場や県大会上位進出を果たし、附属中学校も、テニス部男子が九州大会に出場するなど活躍をしております。昨年の十二月

ものは、学問や学歴ではなく、「人の役に立つ学び」であると感じていました。「急激に社会が変化し、人間の考え方も大きく変化した時代」として、今後長い間語り継がれていくことと思います。このあたり経験はしたくない。重なる経験をした私たちが、これまでの考え方に「持続可能な社会」を構築させるために、今、自分自身は何をすべきなのか」を自分自身で考え、行動に移していく責務があると考えています。このことを踏まえて、今後「人の役に立つ学び」を大切にしたいと思っております。

同窓会の皆様には、お元気で益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。私は、昨年七月一日の同窓会総会において、同窓会長を退任させていただきます。平成二十五年七月の総会において、十一年間会長を務められた森長会長より、会長のタスキを引継ぎ十年が経過していただきました。思いがけない会長就任要請の際に、森長先生「御書院の池の水質改善」と福岡支部再生の課題をいただき、その実現のために活動したことが、懐かしき思い出となります。会長在任中には、校長先生をはじめ教職員の皆様を心よりお祈りいたします。

後輩の皆様、地域の皆様、温かいご支援をいただき、誠に有難うございました。同窓会の関東支部、関西支部、中京支部、福岡支部、長崎支部の総会・懇親会では、校長先生と共に学校の現況報告・学校支援へのお礼や、交流を図り有意義な時間を過ごさせていただきました。令和二年、三年、四年、五年の三年間は、コロナ禍の影響で、同窓会活動も総会・懇親会等を中止せざるを得ない残念な期間でした。諫高に附属中学校が併設されて十二年。今後母

校にも大いなる発展が期待されています。次期会長としてタスキを引継いでくれた小林靖明会長は、諫高同窓会の目的である「会員相互の親睦を図りあわせて母校の発展に資すること」に向かっていると思っております。

会員の皆様の諫高同窓会・小林会長への温かいご支援を何卒よろしくお願いいたします。長い間に改めまして感謝いたします。皆様のご健康と今後の更なるご健康とご活躍をお祈りし、会長退任のご挨拶といたします。

関東支部総会

第六十九回東京不知火会総会・懇親会は、例年どおり六月第三土曜日の六月十七日に東京上野にて開催しました。

コロナ禍で、開催を三回見送っていたこともあり参加者が集まらないのではないかと危惧していましたが予想に反して多数の方々に出席いただくことができました。

古賀賢治会長(二十三回生)挨拶、玉山三重子常任幹事(二十二回生)から会計報告・乾杯



「黒おこし」や諫早自慢の日本酒「杵の川」を差し入れていただき堪能しました。恒例の校歌斉唱を野球部出身の野田誠さん(二十九回生)のリードで大合唱し閉会となりました。初めて参加した卒業生も多数いらっしゃいます。ぜひ、情報交換や気の合う仲間さがしにでもいらしていただきたいものです！

常任幹事 香田誠朗(三十七回生)

関西支部総会

関西支部はコロナ禍の二〇二〇年、支部発足六十年に当たり記念誌を発行しました。同窓会長、諫早市長、校長、恩師、長崎・福岡圏・中部支部長、関西支部の同窓、合わせて四十六名から寄稿して頂き、諫早の懐かしい風景や母校の様子の写真も掲載しました。様々な人生模様が見て取れ面白く、同窓の皆様の気持ちを繋ぐことができたと思います。二〇二二年は役員による電話作戦と題し、電話や手紙も出して総会への参加を呼びかけましたが、総会は開催できませんでした。昨年は是非開催しようと、真崎支部長を中心に準備を進

めましたが、真崎さんの病気が悪化し、総会の日を待たずに亡くなられたことは、大変悲しく残念でなりません。四年ぶりに総会を、昨年十一月五日に開催しました。新役員の林田さんの発案で、前方スクリーンに諫早の懐かしい風景をサライの曲に乗せて上映しました。今年は十一月二日に開催します。



昨年十二月二十四日高校駅伝では、二十名近くが西京極の競技場で母校の応援団と共に声を枯らして応援しました。

関西支部長 古川徳三(二十三回卒)

中京支部総会

久しぶりの中京支部総会ならびに懇親会を九月三十日土曜日に開催しました。今回は名古屋から離れて、三重県四日市市にあります四日市シティホテルを会場にしました。ご存知のように、中京支部は愛知・三重・岐阜の三県を範囲としています。名古屋ばかりでなく二県も訪問して懇親を深めたいということからでした。当日は本部から、小林靖明同窓会長、小西仁諫早高校副校長、池田光利同窓会相談役、塚原伸二同窓会事務局長の四人の方々にご臨席を賜りました。対する中京支部会員の方は八名しか参加せず、ご来賓の方々には申し訳なく、反省しきりでございます。中京支部総会では名物だった田口豊太郎先輩(全十一回卒)の名司会がなくなってしまう、誠に残念でした。コロナ禍のなかで同窓会が開けなかつた時にお亡くなりになってしまわれました。会では、小林会長はじめ来賓の方々には、諫早の町のこと、母校の活躍ぶりをお話しいただき、感嘆しきりでした。また、全十五回卒三重県松阪市在住の梅崎邦彦先輩が「諫早の歴史」と銘打って旧石器時代から歴史をご自分で研究され、資料をいただきました。個人的には、肥前西郷氏の頃の話が興味深いものでした。会の後、参加者七人で反省会を開き、若い方々にも参加してもらえ

ような同窓会になくはという話が中心でした。他の同窓会支部はアップして、ホームページを公開していくのも一つの手段というところで、今回立ち上げました。まだまだ工事中ですが、とりあえず立ち上げて、中京支部のみならず他の支部の応援をいただきながら充実させていきます。よろしくお願ひします。https://1388cyukyojindostie.com/です。無料サイトをつくったので広告が入りますが、訪問お待ちしております。



長崎支部総会

コロナ禍で、自粛していた長崎支部の活動を、ようやく再開し、新年一月十八日、四年ぶりに、恒例の「支部新年会」を開催した。新年会には、第四回卒、九十歳になられた大石保氏(元県議会副議長)をはじめ、田中桂之助元副知事など、およそ四十人が出席。同窓会本部の小林新会長や堤校長から、母校諫早高校の、学業(難関大学合格実績)やスポーツなど、文武両道で、目覚ましい実績を重ねていることが報告された。出席者の中では、一月一日付けで、県教育長に就任された前川謙介氏(三十四回卒)が、諫高出身のベテランから若手までの県庁職員およそ十人とともに参加され、大いに盛り上げて頂いた。また十八回卒の皆様は、世話役の岸川さんのご尽力で、今回は沢山参加頂いたほか、今回は、長崎北ラグビー部の実績だけでなく、最近女子プロゴルファー桜井心那選手の指導者としても注目されている緒方広道先生(二十五回卒)が、ご夫妻揃って参加された。参加者のスピーチでも大いに盛り上がり、最後は、恒例の肩を組んでの「校歌大合唱」で、来年の再会を期して、お開きとなった。

長崎支部長 河野 英雄 (十五回卒)



福岡圏支部総会

福岡圏支部は、二〇二三年(令和五年)七月二十九日、堤校長、小林新会長、池田前会長、塚原事務局長の御来賓を得て、会員九十名の参加により、四年ぶりとなる総会を福岡市内のホテルクリオコート博多にて開催しました。四年開かなかつた間には惜しくも逝去された方もありましたが、参加された方々は変わりなく旧交をあたため、久しぶりの再会に話はずみ、余興も飛び出していたいそう盛況でした。

総会の数日前に、諫高出身の垣根涼介さんが「極楽征夷大将軍」で直木賞を受賞したという朗報もありました。あらためて諫高出身の野呂邦暢さんの芥川賞受賞作「諫早菖蒲日記」を読みかえし、香り高い文体で、幕末の郷土諫早を克明に描いていることに感銘を受けました。今後、総会で郷土諫早について語りあいたいと思います。



諫早高等学校同窓会福岡圏支部

2023.7.29 ホテルクリオコート博多

福岡圏支部長 前田 豊(十九回生)

2023 (第75回卒業生) 入試結果

Table showing university entrance results for 2023 (75th graduation year). It is divided into National Universities (国立大学), Public Universities (公立大学), Private Universities (私立大学), and Short-term Universities (短期大学). Each section lists the university name, number of 75th graduates, and total graduates.

Table showing the activities and main achievements of various clubs (部活動). The table lists the club name, number of members, and a detailed list of their accomplishments in various sports and cultural events.

部活動

1. 部活動の入部状況 (複数在籍含む)

Table showing the enrollment status of clubs for the 75th graduates. It includes the club name, the number of members in each year (1st, 2nd, 3rd), and the total number of members for the entire year.

2. 部員数及び活動状況 (令和5年度)

Table showing the number of members and activities for various clubs in the 5th year of Reiwa. It lists the club name, number of members, and a detailed list of their achievements in various sports and cultural events.



成人同窓会活動報告

令和六年一月五日、ホテルフラッグスにて七十四回生の同窓会を開催しました。先生方を含め百九十六名の皆さんに参加していただきました。参加してくださった皆様への場をお借りして御礼申し上げます。私たちが高校生活はコロナ禍真只中で、修学旅行や高校総体の中止、体育大会・クラスマッチの縮小開催などの様々な困難や、これらによって生まれた新たな楽しさもありました。そのような当時の思い出に花を咲かせるとともに、約二年ぶりに会った友人や先生方との近況報告で盛り上がるなどマスク無しでの同窓会は非常に楽しいひとときとなりました。次回の同窓会で皆とどのような話ができるか楽しみです。

七十四回生幹事
造酒 明音

お礼 — 令和五年度全国高等学校 駅伝競走大会出場に際して

三年生のために

陸上部顧問・女子駅伝監督

羽山 篤史

(五十一回生)



同窓会の皆様には、日頃より多大なるご支援とご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年の都大路で入賞を逃してから、もう一度「八位入賞」の目標を掲げて練習に励んでまいりました。今年の三年生二人は、それぞれ一年次、二年次と都大路を走ってきましたが、思うような走りができずに悔しい想いをしてきました。最終学年となった今年にける想いが強く、それぞれがエース区間の一区を走りチームを入賞に導きたいとこの一年間努力を重ねてき



ました。しかしながら、陸上の神様はなかなか二人に微笑んでくれず、度重なる怪我と病気に伴い、二人が万全な形で練習をすることができませんでした。それでも、二人は決して諦めることなく努力を続けてきました。その結果、十一月の県予選大会では、主将が一区で流れを作り、二位に五分以上の差をつける優勝で都大路の切符を獲得しました。

しかし、都大路の出場権を獲得した翌週、足が悲鳴をあげたのです。都大路前に主将の離脱、なかなか状態が上がりません。もう一人の三年生。刻々と迫る期日に、不安と焦りが二人に重くのしかかりました。それでも、都大路出走を諦めず走り続けました。指導者としては早く止めさせるべき

状態でしたが、彼女たちの想いが強く、止めさせることができませんでした。最後まで走り続けた彼女たちの姿に、下級生が奮起しました。出発前の練習で、出走した五人中四人が自己記録を更新する走りを見せてくれました。その勢いそのまま京都に乗り込みました。二人はサポートメンバーに回りチームを引っ張ってくれました。長距離女子部員十四名全員で、師走の京都を駆け抜けました。途切れることのない声援により、今の力を出し切ることができました。目標には届きませんでした。目標には届きませんでした。最後まで素晴らしいチームワークを発揮してくれました。さらに飛躍できるように精進してまいります。今後とも変わらぬ応援をよろしくお願いいたします。



定時制の現在

定時制
教頭 山本 康雄
(三十四回生)

令和五年度の一年間を振り返ってみると、主な行事は次のとおりです。四月十日、第七十五回入学式において十六名の新生を迎え、全生徒三十九名でスタートしました。昨年度から二桁の生徒が入学して、少しずつ生徒が増え、活気が出てきました。生徒は夕方からの四コマの授業を受けています。そのうち、約六割の生徒が昼間に働き疲れながらも、仕事と学習の両立を頑張っています。五月二十六日、四年ぶりにPTA総会が開かれ保護者との懇談会も有意義でした。六月十一日、県定時制通信制体育大会が長崎工業高校他で行われ、本校からバドミントン競技と卓球競技に出場しました。入賞することはできず、気持ち新たに来年度の活躍を期待したいと思います。六月三十日、ETA総会を実施しました。勤労生徒の支援について活発な意見交換が行われました。十月一日、県定時制通信制生徒生活体験発表大会が佐世保市相浦町コミュニティセンターで行われ、三年島山智貴君がこれまでの人生を振り返って「高校生という選択」



シリーズ「おしどりの池」②

母校への赴任にあたって

前田 幸一 (三十七回生)

前任校で異動の内示を受ける際、赴任先が諫早高校と聞いて驚きとも身に引き締まる思いがしたのを覚えています。思えば約四十年前に卒業し、再びここに帰ってくることに感じています。ところで今年度は三十七回生にとって、待ちに待ったというべきビッグニュースが飛び込んで

というテーマで堂々と発表し聴衆を魅了しました。今年度は生徒職員全員が会場に応援しました。十月二十七日、第十四回文化祭を開催しました。生徒会のオープニングビデオ、職員の飛び入り弾き語り、家庭科、国語科、書道の作品展示、三年によるハンバリー、PTA&職員によるうどんコーナーなどに生徒の家族ら約六十名が参観し、大盛況に終わることができました。十一月十八日、諫早・大村・島原の定時制三校による中地区定時制体育大会が本校体育館で行われました。生徒数減に伴い、今年度はバドミントン競技に絞って個人戦が行われ、四年の井水吏心君が三位に入賞しました。三校の生徒の親睦を深める

ことができました。それは垣根涼介氏の直木賞受賞です。「室町無頼」で一回目のノミネートの後、受賞を逃していましたが、三回目ノミネートで三回目に受賞となりました。同窓生として誇りに思うとともに、今後の活躍に期待しています。諫早高校の生徒たちが、今後の人生において少しでも実りのある人生が送れるように私自身微力ながら力になっていければと思います。

今回の会報におきまして、原稿執筆や情報提供をいただきました皆様方、本当にありがとうございます。おかげさまで今年度も同窓会々報を発行することができました。また、本年度も様々な学校行事の開催にあたり、同窓会生の方々のはじめ、地域の方々など非常に多くの方にお力添えをいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

編集後記

「文武両道」の校是のもと、来年度も母校のさらなる躍進のため今後も教職員一同、一枚岩となって努めて参ります。最後になりますが、同窓会々報をこ一読いただき、母校に思いを寄せていただければ幸いです。